

令和7年度事務事業評価 実施結果報告

1. 令和7年度事務事業評価の概要

(1) 目的

- ①定期的に事業実施結果の検証を行い、課題を明らかにし、今後の方向性を検討します。
- ②事業実施職員が主体的かつ客観的に事業を評価することにより、職員の意識改革を推進します。
- ③評価は公表し、見直しの検討過程を町民の皆さんに情報提供します。

(2) 評価の方法等

①評価方式	事後評価方式
②評価対象	12事務事業
③評価主体	町
④評価時点	令和7年度の状況
⑤評価者	一次：事務事業を所管する係長等
	二次：行政改革推進本部幹事
	三次：行政改革推進本部
⑥評価方法	ア 事務事業の事業費やコストを分析する。
	イ 必要性の判断（町が実施する必要があるか、目的・役割が社会情勢の変化で薄れていないか、事業を休止・廃止した場合の影響は大きいかな。）
	ウ 有効性の判断（事業が目的達成につながっているか、期待された効果が実際に得られているか。）
	エ 効率性の判断（成果やサービス水準を落とさずにコストを削減する余地はないか、投入した資源に見合った効果が得られているか。）
	オ 公平性の判断（受益者負担は適正であるか、受益者が一部に偏っていないか。）
	カ 4つの評価を勘案して総合評価 (A：適正、B：ほぼ適正、C：多少見直し、D：見直し)

(3) 実施経過

日 付	内 容
令和8年 ① 5月20日	第1回 行政改革幹事会 令和7年度事務事業評価の内容検討
② 5月25日	第1回 行政改革本部会 令和7年度事務事業評価の内容確定
③ 5月26日 ～ 6月10日	一次評価作業 事務事業を所管する係長等による一次評価
④ 6月24日	二次評価作業 行革幹事を総務産業関係・社会文教関係の2グループに分けて実施
⑤ 7月15日	第2回 行政改革幹事会 二次評価取りまとめ結果の確認・結果案の確定
⑥ 7月27日	第2回 行政改革本部会 事務事業評価の確定
⑦ 8月26日	第1回 行政改革推進委員会 事務事業評価の報告・審議

2. 令和7年度評価結果

○評価結果は、全12事業中、『A：適正』は9事業、『B：ほぼ適正』は3事業、『C：多少見直し』、『D：見直し』は該当ありませんでした。事業ごとの評価結果は、次表のとおりです。

○『B：ほぼ適正』、『C：多少見直し』、『D：見直し』となった事業については、次表のコメント欄に検討事項や見直し方針をお示しし、『A：適正』となった事業についても、場合によりコメントを付しております。

令和7年度事務事業評価 評価結果

No.	事 務 事 業	事業担当部署 事業評価者		総合計画 章-節	二次評価					二次評価コメント
		担当課	担当係		必要性	有効性	効率性	公平性	総合	
1	再生可能エネルギー利用設備導入補助	未来創造課	地域創造係	4-2-3	B	A	A	A	A	
2	若者定住促進家賃補助金		移住国際交流係	1-3-2	A	A	B	A	A	
3	移住促進家賃補助金			1-3-2	A	A	B	A	A	
4	福祉乗物補助券給付事業	健康福祉課	福祉係	2-3-1	B	B	C	C	B	事業の必要性・有効性は高いため、効率的な事務処理方法を検討されたい
5	誘客促進支援事業（ファムトリップ支援）	経済振興課	経済振興係	1-1-1	A	A	A	A	A	セールスコール支援事業補助金と組み合わせることにより事業の有効性が高まるため、機能性を持った一体的な補助制度への見直しを検討されたい
6	ひとがつなぐプロジェクト			1-1-1	A	B	A	A	A	
7	第6次産業化推進事業	農林振興課	農業振興係	1-2-1	A	A	B	B	A	
8	農業経営雇用促進事業			1-2-1	A	A	B	B	A	事業の必要性は高く、農業経営の規模拡大につながるよう、到達目標を定めた上で補助制度の新規利用者を増加させる方法を検討されたい
9	育樹事業（育苗プロジェクト）		耕地林務係	1-2-2	A	A	C	A	B	長期目標を定め、課題を検証するとともに、より多くの人が参加できる方法や発信のあり方を検討されたい
10	花と緑の風景づくり	建設水道課	景観維持係	4-2-2	A	B	B	A	B	車の玄関口である国道292号・403号それぞれを対象とした事業方法の他、地域の住民や団体が関わって活動する方法を検討されたい
11	小中卒業祝い金	こども未来課	学校教育係	3-1-1	B	B	B	A	A	
12	出産・育児祝い金事業		保育・幼児教育係	2-1-1	A	B	A	A	A	※支給総額は変えず、成長段階に応じた支給金額の設定について意見あり（事務量が増えるため要検討）

総合評価	(R7)	判断基準
A	9	問題ない
B	3	ほぼ問題ない
C	0	多少見直す余地あり
D	0	見直す必要あり

評価事業計 12